

教科	国語	科目	論理国語	学年	3年（普通科、園芸クリエイト科）	単位数	2
教材	教科書	新編 論理国語			出版社名	大修館書店	
	副教材	常用漢字クリア（尚文出版）					

学習の目標	1 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けます。 2 論理的、批判的に考える力を伸ばし、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを深めます。 3 言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする態度を養います。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第Ⅱ部：論理を活用する 1 自己を見つめて探求する力	○ 読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深めます。	中間 考査 期 末 考 査
	5月 2 思考を深める 和の思想、間の文化 ミロのヴィーナス	○ 筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味します。	
	6月 3 社会に向かって 志望先への提出書類 志望理由書を書こう	○ 必要な情報を集め、それらを適切に結びつけて、相手の印象に残る志望理由書を書きます。	
	7月 自己推薦書を書こう	○ 自分を客観的に見つめ、材料を膨らませて、説得力のある自己推薦書を書きます。	
2 学期	8月 4 視点を変えて 人類の進化から考える「心」の誕生 ロボットに心はあるか	○ 複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めます。	中間 考査 期 末 考 査
	9月 クオリアと心	○ 具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもち、独特の概念や筆者の主張を的確にとらえます。	
	10月 6 現代を考える 政治の本質 「である」ことと「する」こと	○ 筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深めます。 ○ 対比の役割を意識して本文を読み、筆者の主張を的確につかみます。	
	11月 7 未来に目を向けて 人口減少社会の到来 未来の地図帳 エネルギー耕作型文明への転換	○ 日本社会や世界が抱える課題に関心を持ち、考えを広げたり深めたりします。 ○ 対比の役割に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	
3 学期	1月 豊かさにつながり	○ 論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えをもちます。	学 年 末 考 査
	2月		
	3月		

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いている。
評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考査前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。		

教科	国語	科目	文学国語	学年	3年(普通科 探究類型 文系、教養類型、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 標準文学国語			出版社名	第一学習社	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、我が国の言語文化に対する理解を深めます。
	2	深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりの中で自分の考えを広げます。
	3	言葉がもつ価値への認識を深め、読書に親しむことで自己を向上させます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第Ⅱ部 現代の小説(三)	○ 物語の展開や表現の特色を的確に捉え、読解力を養います。	中間 考査 期 末 考査
	5月	近代の小説(二)	○ 作品に表れているものの見方を読み取り、自分のものの見方を深めます。	
	6月		○ 物語の内容や描写を踏まえ、解釈の多様性について考察します。	
	7月	テーマを決めて短歌・俳句を作る	○ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学びます。	
2 学期	8月	近代の詩	○ 表現上の特徴に着目して文語詩や口語詩を読み味わいます。	中間 考査 期 末 考査
	9月		○ 詩に描かれている心情や考え方を読み取り、豊かな感性を養います。	
	10月	現代の小説(四)	○ 登場人物の行動や情景描写の仕方に着目し、登場人物の心情の変化を読み取ります。	
	11月	物語を創造する (物語を発言する力)	○ 読書の意義と効用について理解し、進んで読書をする態度を養います。	
	12月	戦争と文学(二)	○ 文体の表現や技法に注意して、人物の心情や情景を描写します。	
3 学期	1月		○ 読み手の関心が得られるよう、構成や展開を工夫して文章を書きます。	学 年 末 考 査
	2月		○ 出来事の経緯や人物の発言をもとに登場人物の心情を読み取ります。	
	3月		○ 文学作品の主題を的確に読み取り、戦争や平和について自分の考えを深めます。	

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。
評価の方法	定期考査の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考査前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。		

教科	国語	科目	古典探究	学年	3年(普通科 探究類型 文系、教養類型)	単位数	3
教材	教科書	新編古典探究			出版社名	東京書籍	
	副教材	ダブルマスター古典文法+漢文句形					

学習の目標	1	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、伝統的な言語文化に対する理解を深めます。
	2	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばします。
	3	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月	古文編 II部 1 随筆を味わう	○ 作者のものの見方、感じ方、考え方を自分と関係づけながら読み取ります。	中間 期末 考查
	5月	漢文編 II部 1 小話を読む	○ 平易な文章の内容を漢文特有の語や句法に注意して、的確に読み取ります。	
	6月	古文編 II部 2 歌物語を楽しむ	○ 歌物語の特色に注意して、作品に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ります。	
	7月	漢文編 II部 2 古詩を味わう	○ 内容や表現の豊かさを理解し、詩に詠まれた情景や心情を読み味わいます。	
2学期	8月	古文編 II部 3 大鏡	○ 作品の特色に注意して、歴史物語を的確に読み取ります。	中間 期末 考查
	9月	漢文編 II部 3 史記を味わう	○ 漢文特有の語や句法に注意して、登場人物の言動や人物像を的確に読み取ります。	
	10月	古文編 II部 5 作り物語を味わう	○ 他の作品や絵画との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的確に読み取ります。	
	12月	漢文編 II部 4 儒家と道家	○ 古代中国の様々な思想を比較し、人間の在り方について考えを深めます。	
3学期	1月	古文編 II部 4 歌話・歌論を読む	○ 構成を考えながら歌論を読み、内容の解釈を深めます。	学年末 考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、提出課題、小テスト等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習をしっかりとしましょう。配布されたプリントは、家庭で自分の力で解きましょう。 2 忘れ物をせず、授業に集中しましょう。忘れ物をすると意欲と理解力が低下します。 3 考查前には、配布されたプリントを見直すなどして必ず復習をしましょう。		

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	4
教材	教科書	日本史探究			出版社名	東京書籍	
	副教材	特になし					

学習の目標	1	歴史的諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付け様々な情報を調べまとめる。
	2	歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、考察したり議論したりする力を養う。
	3	歴史的諸事象について、日本国民としての自覚や他国の文化等を尊重する自覚を深める。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 先史・古代の日本と東アジア 第1章 先史社会の生活と文化 第2章 歴史資料と先史・古代の展望 第3章 古代社会の形成と展開	○ 人類が日本列島で生活を営み始めた時代から平安時代までを扱い、先史・古代がどのような時代であったかを東アジア世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにします。	中間考查
	5月			
	6月			
2 学期	7月	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開	○ 平安時代末から戦国時代までを扱い、中世がどのような時代であったかを東アジアやユーラシアの動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解できるようにします。	期末考查
	8月			
	9月			
3 学期	10月	第3編 近世の日本と世界 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開	○ 安土桃山時代から江戸時代までを扱い、近世がどのような時代であったかを世界の動向と関連付けて考察し、総合的に捉えて理解します。	中間考查
	11月			
	12月			
3 学期	1月	4章 現代の日本の課題の探究	○ 近世の幕末期から現代までを扱い、「歴史総合」の学習をふまえ、世界の情勢の変化とその中における日本の相互の関係や、日本の近現代の歴史を、多面的・多角的に考察し理解します。	学年末考查
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	我が国の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	我が国の歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする。	我が国の歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 主体的に教科書を読むなど、授業の中で分からないことを解消させていきましょう。 2 小テストや定期考查に備えて、計画的に学習に取り組みましょう。 3 提出物は期限を守って必ず提出するようにしましょう。		

教科	公民	科目	政治・経済	学年	3年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	2
教材	教科書	政治・経済			出版社名	東京書籍	
	副教材	2024政治・経済ワークブック(愛媛県高教研地歴・公民部門編)					

学習の目標	1	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて必要な概念や理論を理解します。
	2	国家および社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方を身に付けます。
	3	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原則	○ 政治の役割や、社会契約説における政府と国民との関係性について理解します。	中間 考查 期 末 考 査
	5月	2節 日本国憲法の基本原則	○ 大日本帝国憲法および日本国憲法の特徴について理解します。	
	6月	3節 日本の政治機構	○ 国会、内閣、裁判所の権限や組織のしくみについて理解します。	
	7月	4節 現代政治の特質と課題	○ 議会制民主主義において政党が必要な理由や、日本の選挙制度の特徴について理解します。	
2 学期	8月	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済	○ 経済体制にはどのようなものがあるか考察します。	中間 考 査 期 末 考 査
	9月	2節 現代経済のしくみ	○ 家計および企業の経済活動や、各経済主体の相互関係について理解します。	
	10月	3節 日本経済の発展と現状	○ 日本経済の変遷と産業構造の変化について理解します。	
	11月	4節 福祉社会と日本経済の課題	○ 労働問題が発生する理由や、社会保障制度の発展と変化について理解します。	
	12月	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治 1節 国際政治のしくみ	○ 日本の子育て支援の現状や、地域社会の現状について理解します。	
3 学期	1月	2節 複雑化する国際政治と日本 第2章 現代の国際経済 1節 国民経済と国際経済 2節 世界経済の現状と課題	○ 国際社会の秩序維持の要因や国際法の特徴について理解します。	学 年 末 考 査
	2月	第3章 国際社会の諸課題	○ 貿易の意義や現代の国際通貨体制の変遷、経済のグローバル化の進展や近年の国際金融の変化について理解します。	
	3月		○ 多文化共生をめぐる現状や貧困と開発援助の現状について理解します。	

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解しているとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に議論し、公正に判断して、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動、課題レポート、授業ノート、単元ごとのまとめなどの提出物を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業の前に、教科書の予習(通読)をしましょう。 2 授業ノート作りを丁寧に行いましょう。分からないこと、疑問点は質問しましょう。 3 新聞やニュースなどで、時事問題に興味・関心を持ちましょう。		

教科	数学	科目	数学Ⅱ	学年	3年(普通科 教養類型)	単位数	3
教材	教科書	最新 数学Ⅱ			出版社名	数研出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 三角関数・指数関数・対数関数、微分法と積分法についての理解を深めます。 2 基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を身に付けます。 3 数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月 第4章 三角関数 第1節 三角関数 1. 一般角 2. 弧度法	○弧度法で表された三角関数の値を求められるようにします。	中間 考 査
	5月 3. 三角関数 4. 三角関数のグラフ 5. 三角関数を含む方程式、不等式 第2節 加法定理	○三角関数の特徴を理解し、三角関数のグラフをかけるようにします。	
	6月 6. 加法定理 7. 加法定理の応用 8. 三角関数の合成	○加法定理を理解し、種々の三角関数の値が求められるようにします。	
2 学期	7月 第5章 指数関数と対数関数 1. 指数法則 2. 指数関数とそのグラフ	○指数関数の特徴を理解し、グラフをかけるようにします。	期 末 考 査
	8月 3. 対数 4. 対数の性質 5. 対数関数とそのグラフ 6. 常用対数	○対数関数の特徴を理解し、グラフをかけるようにします。	
	9月 第6章 微分法と積分法 第1節 微分法	○微分の考え方を理解し、導関数の計算ができるようにします。	
	10月 1. 平均変化率と微分係数 2. 導関数 3. 微分法の公式 4. 接線 5. 関数の増減	○導関数を応用し、接線の方程式が求められるようにします。	
	11月 6. 関数の極大・極小 7. 関数の最大・最小 8. 方程式・不等式への応用	○3次関数のグラフを利用し、極値や最大値・最小値、3次方程式や3次不等式の解を求められるようにします。	
	12月 第2節 積分法 9. 不定積分 10. 不定積分の計算 11. 定積分	○積分の考え方を理解し、不定積分や定積分の計算ができるようにします。	
3 学期	1月 12. 定積分の性質 13. 面積	○定積分の考え方を応用し、グラフで囲まれた部分の面積が求められるようにします。	学 年 末 考 査
	2月		
	3月		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身に付けようとしている。
評価の方法	定期考查の得点や授業態度、活動状況・課題・小テスト・プリントやノート等の提出物などを各学期で観点別に評価します。それらの評価を用いて学年末の成績とします。		
学習へのアドバイス	1 学習内容全般において、数学の基本的な知識の習得と技能の習熟を図りましょう。 2 問題解決等を通して、物事を筋道立てて考えたり、具体的な手順などを考えてみましょう。 3 指示された範囲の予習をきちんとし、問題意識をもって授業に臨みましょう。		

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3年(普通科 教養類型、情報・ビジネス類型)	単位数	2
教材	教科書	高等学校 改訂 生物基礎			出版社名	第一学習社	
	副教材	エッセンスノート (啓林館)、生物基礎実験ノート・問題集 (高教研理科部会生物部門)					

学習の目標	1 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高めます。 2 目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てます。 3 生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養います。
-------	--

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 3編 生物の体内環境の維持 3章 生物の体内環境 1節 体液とその働き 2節 生体防御	○問題演習を通して2年次の学習内容の復習します。 ○免疫とそれに関わる細胞の働きについて理解します。 ○生物の体内環境の維持に関する探究活動を行い、学習内容の理解を深めるとともに、生物学的に探究する能力を高めます。	中間考查 期末考查
	5月		
	6月 3節 体内環境維持のしくみ		
	7月		
2学期	8月 4編 生物の多様性と生態系 4章 バイオームの多様性と分布	○生物の多様性と生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識します。 ○陸上には様々な植生がみられ、植生は長期的に移り変わっていくことを理解します。 ○気温と降水量の違いによって様々なバイオームが成立していることを理解します。 ○生態系では、物質が循環するとともにエネルギーが移動することを理解します。 ○生態系のバランスについて理解し、生態系の保全の重要性を認識します。	中間考查 期末考查
	9月 1節 生物の多様性とバイオーム		
	10月 2節 バイオームの形成過程 3節 バイオームとその分布		
	11月 5章 生態系とその保全 1節 生態系		
	12月 2節 生態系のバランスと保全		
3学期	1月 3節 生態系の保全	○生物の多様性と生態系に関する探究活動を行い、生物学的に探究する能力を高めます。	学年末考查
	2月		
	3月		

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	生物や生物現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	生物や生物現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究している。
評価の方法	定期考查の得点と提出課題、小テストなどを資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 授業は集中して臨むこと。また、その日のうちに復習をしましょう。 2 問題集を活用し、知識の定着を行きましょう。 3 定期考查には全力で臨みましょう。		

教科	保健体育	科目	体育	学年	3年(普通科、園芸クリエイト科)	単位数	2
教材	教科書	現代高等保健体育			出版社名	大修館書店	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わいます。
	2 課題を発見し、その解決に向けて思考し判断する態度を育てます。
	3 公正、協力、責任、参画、一人一人の違いを大切にする資質や能力を育てます。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1 体づくり運動	○ 南校体操、補強運動や集団走を正確に身に付けます。	中間 考查 期末 考查
	5月	2 陸上競技	○ 集団行動を通し、協力、責任、参画に対する意欲を高めます。	
	6月	3 球技 I	○ 体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	7月	4 体育理論	○ バレーボール、ソフトボール、卓球、テニスの中から選択して活動します。	
2 学期	8月	5 体づくり運動 ダンス	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	中間 考查 期末 考查
	9月			
	10月	6 陸上競技	○ 運動会の集団演技の練習を行う中で、集団の中での協調性を養います。	
	11月	7 球技 II (その①)	○ 長距離走を行うことにより、体力を高め、自己の可能性に挑戦する楽しさを味わいます。	
	12月	8 体育理論	○ バasketボール、サッカー、卓球、テニスの中から選択して活動します。	期末 考查
3 学期	1月	9 球技 II	○ 豊かなスポーツライフの設計について学びます。	学年 末 考 査
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的、計画的な実施を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能が身に付いている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決方法を思考・判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価の方法	授業態度、出席点、スキルテスト、記録、定期考查の得点等日々の学習活動について、観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	---

学習へのアドバイス	1 「鍛」を目標に体力・気力の充実を図り、たくましく生きる力を身に付けていきましょう。 2 積極的に参加し、自主的に協調性をもって行動しましょう。 3 一人一人が健康と安全に留意して臨みましょう。
-----------	--

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	Joy of Music			出版社名	教育芸術社	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てます。 2 音楽文化を尊重する態度を育てます。 3 感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高めます。
-------	---

	教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1学期	4月 音楽と関わる仕事	○ 「結」「ふるさと」を歌い、音楽や生活及び社会における音楽や音楽にかかわる人々の役割を理解します。	
	5月 ギターで弾き語りをしてみよう (器楽・歌唱)	○ 「翼をください」「なごり雪」などを弾き歌い、ギターの基礎的な奏法を身に付けます。	
	6月 〃		
	7月 言葉と音楽 (鑑賞・歌唱)	○ 「Hey Jude」「美女と野獣」などを聴き歌い、言葉と音楽の関わりを考察します。	
2学期	8月 音楽で描かれたイメージ・思い (鑑賞)	○ 夏季休業中の課題・レポートをもとに、音楽と場面の関わりについてプレゼンテーションを行います。	
	9月 アンサンブルの楽しみ (歌唱) (器楽)	○ アンサンブルの形態選びから始めて、様々な工夫をしながら、発表を行います。	
	10月 〃		
	11月 物語と音楽 (鑑賞・歌唱)	○ ミュージカルや映画の中から、自分の好きな作品を選び、その特徴や背景についてプレゼンテーションをします。	
	12月 自分のイメージする音楽を作る (創作)	○ 「題材」「イメージ」を選び、音で表現します。	
3学期	1月 ファイナルコンサートを開こう	○ 高校3年間の音楽のまとめとして、歌唱・器楽・鑑賞・創作の中から選び、グループや個人での発表を行います。	
	2月		
	3月		

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解を深め、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽・創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えようとしている。また、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	実技テストや発表、実技評価、鑑賞力評価等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 豊かな感性を磨き、表現の工夫をしましょう。 2 人と協力し、工夫しながらより良い音楽を追求しましょう。 3 様々な音楽文化の良さを感じ、創造的に味わいましょう。		

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	高校生の美術3			出版社名	日本文教出版	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 美術の創造的な諸活動を通して美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てます。 2 美術文化を尊重する態度を育てます。 3 感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力をより一層高めます。
-------	--

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	オリエンテーション デザイン・映像メディア表現・鑑賞 ・情報の視覚化	美術Ⅲについて ○ブレインストーミングを通して、身の回りのデザインを鑑賞します。 ○表示伝達する内容や目的と見やすさ美しさの調和を考えて主題を構成します。 ○情報を整理し伝えたい内容を視覚化して見やすく分かりやすく表現します。 ○デザインによる環境改善のためのプレゼンテーションポスターを制作します。 ○視覚的効果を考えてポスターを作成します。	
	5月			
	6月			
	7月			
2 学期	8月	絵画・彫刻・映像メディア表現・鑑賞 ・画家が追い求めたもの ・彫刻と着彩	自画像制作 卒業制作として ○様々な表現技法を理解し、自己表現に適した技法を選択します。 ○西洋・東洋、平面・立体、映像メディア表現作品を鑑賞し、作者の表現と技法を理解し、作品制作に活用します。 ○自己を見つめ選択した表現技法による自分像を制作します。	
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
3 学期	1月	まとめ	○作品展示による鑑賞会を企画し、対話型鑑賞会を行います。	
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	造形活動における理論や考え方を理解するとともに道具の扱いを身に付けている。	より良いアイデアや表現を追求するため、自分の作品を客観的に見つめ、良い点と改善点を見つけ出そうとしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

評価の方法	実技テストや発表、実技評価、鑑賞力評価等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。
-------	--

学習へのアドバイス	1 授業中の時間を大切にし、目標をもって作品の制作や鑑賞に取り組みましょう。 2 日頃の生活の中でも、感性を働かせ、自分の思考を刺激し制作テーマを蓄えておきましょう。 3 美術教室や制作道具を大切にし、マナーを守って制作しましょう。
-----------	--

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	書Ⅲ			出版社名	光村図書	
	副教材	特になし					

学習の目標	1 創造的な活動を通して、書を愛好する心情を育てます。 2 感性を高め、書の伝統と文化についての理解を深めます。 3 個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばします。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	零 書之美を求めて 1 個性的な美の発見と表現 2 書体・書風の変遷	○様々な様式の書道の古典に触れ、殷代からの書体の変遷について理解を深めます。	
	5月	一 漢字の書 1 篆書	○篆書とはどのような書体かを知り、歴史的な位置付けを理解します。	
	6月	(1) さまざまな篆書 (2) 散氏盤の鑑賞と臨書 (3) 天発神識碑の鑑賞と臨書	○臨書活動を通して、意図の基づく表現技能を身につけます。	
	7月	2 篆刻 (1) 篆刻について	○書表現の一分野としての篆刻の意義を理解します。	
2 学期	8月	(2) 姓名印と文字の配置 (3) 印稿の例・刻る手順 (4) 篆刻を楽しむ	○作品に対する効果を考えて姓名印を刻し、押印を楽しみます。 ○作品に押しつけて完成させます。	
	9月	3 隸書	○さまざまな隸書古典を鑑賞し、行書の特徴について理解します。	
	10月	(1) さまざまな隸書 (2) 礼器碑の鑑賞と臨書 (3) 張遷碑の鑑賞と臨書	○臨書活動を通して、意図に基づく表現技能を身につけます。	
	11月	二 漢字仮名交じりの書 1 意図に応じた表現 2 自分の表現を目指して	○自らの感動や思い・感慨に応じて詩文を選定します。 ○自己の感性の表現方法を考えます。	
	12月	3 感動や思いを表現しよう 4 感動を語ろう	○感銘を受けた作品の感想を、自分の言葉で表現します。	
3 学期	1月	三 仮名の書 1 秋萩帖の鑑賞と臨書 2 升色紙の鑑賞と臨書	○代表的な古筆の鑑賞と臨書により、運筆や用筆、散らし書きについて学びます。	
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について理解を深めている。 【知識】 書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための知識を身に付け、表している。【技能】	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書之美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の創造的な活動に取り組もうとしている。
評価の方法	提出作品について、臨書においては対象となる古典の特徴を表現できたか、創作においては意図した表現に近づくことができたか、学習活動への参加態度を含め、観点別に評価し、学年末の成績は、各学期の成績をもとに算出します。		
学習へのアドバイス	1 自らの感性に基づき、対象となる作品や古典に素直な気持ちで向かいましょう。 2 自分は何を表現したいのか考え、詩文を積極的に選びましょう。 3 道具の取り扱いについて、一人一人がマナーを守り、気持ちよく使用しましょう。		

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅢ	学年	3年(普通科 探究類型、教養類型)	単位数	4
教材	教科書	BIG DIPPER English Communication III		出版社名	数研出版		
	副教材	WORD-MEISTER ワードマイスター 英単語・熟語 1700 (第一学習社)、チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語 (数研出版)					

学習の目標	1	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。
	2	物語や説明文などを読んで、素早く情報を読み取り、発信できる力を育成します。
	3	つながぎの言葉やパラグラフの構成を意識して、まとまりのある文章を読んで理解する力を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	Section I Lesson 1~Lesson 14	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々なジャンルの英文を読みます。 ○ 英文の構成や、読み方のポイントを学びます。 ○ つなぎ表現や言い換え表現を学びます。 ○ 新聞記事やサイトのレビューなどから必要な情報を読み取ります。 	<p style="text-align: center;">中間考查</p> <p style="text-align: center;">期末考查</p>
	5月			
	6月			
2 学期	7月	Section II Lesson 15 Instant Replay in Sports	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツの判定に用いられる新しいテクノロジーについて読みます。 ○ 消滅の危機に瀕している世界の言語について学びます。 ○ 「環境に良い」と思われている行動を改めて見つめ直します。 ○ ケニアの貧しい子供たちのために開発された「成長する靴」について学びます。 ○ 「フェイクニュース」という誤った情報を見分ける方法を学びます。 ○ 昔から人類の発展とともに広まってきた感染症について学びます。 	<p style="text-align: center;">中間考查</p> <p style="text-align: center;">期末考查</p>
	8月			
	9月	Lesson 16 Endangered Languages		
	10月	Lesson 17 Is This the Right Way to Protect the Environment? Lesson 18 The Shoe That Grows		
	11月	Lesson 19 Fake News		
	12月	Lesson 20 Human Society and Infectious Diseases		
3 学期	1月	SECTION III Lesson 21 Having a Discussion	<ul style="list-style-type: none"> ○ 顔認証システムで変わる現代の生活や社会について討論します。 	<p style="text-align: center;">学年末考查</p>
	2月			
	3月			

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 日常的话题や社会的な話題について書かれた文の内容を捉える技能を身に付けている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して表現する技能を身に付けている。	日常的话题や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして、書き手や話し手の意図や概要、要点を捉えている。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して伝えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、読み手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いて表現し、コミュニケーションを図ろうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 予習・授業・復習のサイクルを大切にし、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしまししょう。 		

教科	外国語	科目	論理・表現Ⅲ	学年	3年(普通科 探究類型文系、教養類型)	単位数	3
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression Ⅲ			出版社名	三省堂	
	副教材	チャート式 BIG DIPPER ビッグ・ディッパー 高校英語(数研出版)					

学習の目標	1 英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を伸ばします。 2 グローバル社会の中で、人としてのものの見方や考え方を養い、自ら考えて表現できる力を養います。 3 世界のさまざまな言語や民族の個性を学び、国際理解のための資質を養います。
-------	---

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画		
1 学期	4月	Unit 1 Lesson 1 Survey Results Lesson 2 Writing an Email	○ 調査結果をもとに、様々な種類の動詞を使って自分の提案を発表したり、自分の希望を伝えるメールを書きます。	中間 考查 期 末 考 査		
	5月	問題演習 Lesson 3 Writing a Blog Lesson 4 Describing Activities				
	6月	問題演習 Lesson 5 Suggesting What to Buy Lesson 6 Making a Proposal	○ グラフやウェブサイトのレビューをもとに自分の提案を書いたり、環境を守る活動について発表したりします。			
		問題演習 Lesson 7 Making a Speech Lesson 8 Writing an Invitation	○ 比較表現や関係詞を学んで、自分の提案を発表します。			
	2 学期	8月	Lesson 9 Suggesting a Solution Lesson 10 Talking about the Future Unit 2		○ 関係詞や仮定法を使って、メッセージや提案を書きます。	中間 考查 期 末 考 査
		9月	Situation 1 At the Airport Situation 2 Homestay		○ 新聞記事やほかの人の発表をもとに、代名詞や前置詞を使って自分の提案を発表します。	
			Situation 3 Gifts from Japan Situation 4 Lost Items 問題演習		○ 入国審査時の会話を学びます。 ○ 海外でのルールを考えます。 ○ 日本文化の説明の仕方を考えます。 ○ 電話の掛け方を学びます。	
		10月	Situation 5 Scheduling a Meeting Situation 6 Visitor Information Center		○ 日程調整時に使う表現を学びます。 ○ ツアーの内容について会話をします。	
11月			Situation 7 At a Restaurant Situation 8 At the Doctor's Office 問題演習	○ レストランでの会話を学びます。 ○ 病院での説明の仕方を学びます。		
		12月	復習			
1月			Situation 9 Buying a Ticket Situation 10 At a Café	○ 価格に関する英語を理解します。 ○ アメリカの印象について読みます。		
			2月			
3 学期	3月					

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどについて理解を深めている。 外国語の音声や語彙、表現、文法言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、情報を整理しながら、外国語で適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いて表現活動を行おうとしている。
評価の方法	定期考查の得点と、授業における各活動や課題等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	1 予習・授業・復習のサイクルを大切に、積極的に英語を使うことに努めましょう。 2 アクセントやイントネーションに気を付け、繰り返し発音・音読練習を行いましょう。 3 文法事項や重要表現を理解し、英語で表現する練習をしましょう。		

教科	家庭	科目	保育基礎	学年	3年(普通科 教養類型 選択)	単位数	2
教材	教科書	保育基礎			出版社名	実教出版	
	副教材	保育基礎					

学習の目標	1	保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けます。
	2	保育や子育て支援に役立つ資質や能力を養います。

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画
1 学期	4月	1章 子どもの保育 1節 保育の意義 2節 保育の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保育の意義と重要性について学習します。 ○ 保育者観についての考察を深めます。 ○ 子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について学習します。 ○ 乳幼児の身体的特徴と生理的特徴及びその変化について学習します。 ○ 愛着関係について学び、親子関係の形成と人間関係の広がりを学習します ○ 技術検定合格に向けて実技の練習を行い検定を受検します。 	期末考查
	5月	3節 保育の環境		
	6月	2章 子どもの発達 1節 子どもの発達の特性 2節 子どものからだの発達 3節 子どもの心の発達		
	7月	保育技術検定3・4級		
2 学期	8月	4章 子どもの文化 1節 子どもの文化の意義と支える場	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童文化財や児童館などが子どもの発達とどのように関係があるのか学びます。また、それを実際に制作し表現活動の重要性などを理解します。 ○ 子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身に付けます。 ○ 生活習慣と援助について学習します。 ○ 子どもの健康管理や事故防止について、対処方法や予防方法を学習します。 ○ 子どもものの見方や感じ方、子どもとの適切な関わり方などを学習します。 ○ 子どもを権利の主体として尊重する考え方が共有されつつあることを学びます。 ○ 児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考えます。 	期末考查
	9月	2節 子どもの遊びと表現活動		
	10月	3章 子どもの生活 1節 子どもの生活と養護 2節 生活習慣の形成 3節 健康管理と事故防止		
		11月		
	12月	5章 子どもの福祉 1節 子ども観 2節 子どもの福祉		
3 学期	1月	5章 子どもの福祉 3節 子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について学習します。 	学年末考查
	2月			
	3月			

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身に付けている。子どもの発達の特性、生活と保育に関する知識を総合的に身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。
評価の方法	定期考查の得点と授業時の活動や発言、実習に取り組む姿勢、提出課題、作品等を資料として観点ごとに評価し、学年末の成績は、各学期の成績を基に算出します。		
学習へのアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> 1 実習科目であるので、欠席をしないで意欲的に取り組みましょう。 2 授業中はしっかり聞き、理解し、考え、自分の意見をもちましょう。 3 学んだこと、経験したことを将来の実生活に生かしていきましょう。 		

令和5年度 愛媛県立今治南高等学校 シラバス

教科		科目		学年	年 (科)	単位数	
教材	教科書					出版社名	
	副教材						

学習の目標	1 2 3
-------	-------------

		教材内容(単元)	学習計画・内容	考查計画	
1 学 期	4月		○ ○	中間 考 査	
	5月		○		
	6月		○ <やり方> 1、左側のセルに○印を入れてください。 2、「セルを結合して中央揃え」を使用し、こ に文章を収めてください。 3、「2」を左上詰めにしてください。		期 末 考 査
	7月				
2 学 期	8月		<例> ○ 物質のなりたち、セラミックス、金属 の特性、プラスチックと高分子化合物 について学習します。 ○ 光合成について学習します。	中間 考 査	
	9月				
	10月				期 末 考 査
	11月				
3 学 期	12月			学 年 末 考 査	
	1月				
	2月				
	3月				

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

評価の方法	
-------	--

学習への アドバイス	1 2 3
---------------	-------------